

【症例】74歳

【現病歴】

'03 HD導入

'04.1 ACSにて入院

#1:99%にてPCI施行(Duraflex 3.5×18mm) 0%

4 ISRにて再度PCI施行

#1:75%(Cypher 3.5×18mm) 0%

'05.12 SAHにて入院、その際のECGにて、Ⅱ、Ⅲ、aVFにてST低下認められたためCAGを施行したところ#2:99% delayの新規病変を認めた。

どういった方法でPCIを施行するか。

ジャドキンスよりアンブラッツタイプを選択しカテのバックアップを強める。

また5in6も併用する

ステントのデリバリー効率を上げるためパラレルワイヤーを使用する

など

最終的には、HD患者のため血管の石灰化が強く、ロータブレーターを行い、PCIを施行した。再狭窄のことも考慮しCypherをimplantした。